

▼学習評価の役割

- 教師から見て：教育の改善のために役立てる
- 生徒から見て：豊かな自己実現に役立てる
- 社会に対して：何が重要であるか、学校における教育の成果を示す

▼学習評価の基本構造

＜参考＞文部科学省「児童生徒の学習評価の在り方（報告）」平成31年1月21日

学習指導要領に
示す目標や内容

知識及び技能

思考力、判断力、
表現力等

学びに向かう力、
人間性等

観点別学習状況
評価の各観点

- 観点ごとに評価し、
生徒の学習状況を分
析的に捉えるもの
- 観点ごとにA B C
の3段階で評価

知識・技能

思考・判断・
表現

感性、思いやり
など

主体的に学習に
取り組む態度

評 定

個人内評価

- 観点別学習状況の評価の結果を総括します。
- 5段階で評価します。
- 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしているかどうかを含めて評価します。

- 観点別学習状況の評価や評定には示しきれない児童生徒一人一人のよい点や可能性、進歩の状況について評価するものです。
- 積極的に評価し、児童生徒に伝えることが重要です。

▼観点別学習状況の評価の観点の整理

＜現行＞

関心・意欲・態度

思考・判断・表現

技能

知識・理解

＜新＞

知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に
取り組む態度

学習指導要領の目標及び内容が資質・能力の三つの柱で再整理されたことを踏まえ、各教科等における観点別学習状況の評価の観点も3観点到整理されました。

▼評価の観点と趣旨（技術分野）

知識・技能

生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。

この観点は、基礎的な技術について、その仕組みの理解やそれらに係る技能の習得状況の評価するものであり、技術に関係する科学的な原理・法則とともに、技術と生活や社会、環境との関わり及び、生活等の場面でも活用できる技術の概念の理解も評価します。

思考・判断・表現

生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。

この観点は、技術を用いて生活や社会における問題を解決するための思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価するものです。技術分野の各内容は「生活や社会を支える技術」、「技術による問題の解決」、「社会の発展と技術」の三つの要素からなる学習過程を踏まえて項目が設定されていることから、各項目では、一連の学習過程における位置付けを踏まえた思考力等を評価します。

主体的に学習に
取り組む態度

よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。

この観点は粘り強さ（知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとしている側面）、自らの学習の調整（粘り強い取組の中で自らの学習を調整しようとする側面）に加え、これらの学びの経験を通して涵養された、技術を工夫し創造しようとする態度について評価します。

指導と評価の計画【例】【中学校技術・家庭科（技術分野）】

<参考>「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料
国立教育政策研究所 教育課程研究センター（令和2年3月）

▼学習活動に即した評価規準の作成手順

準備「学習指導要領の指導項目」確認
まず、学習指導要領の目標を確認します。

①「内容のまとまりごとの評価規準」作成
“学習指導要領「2内容」”や“評価の観点の趣旨”を参考に、指導項目の語尾を変更します。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容のまとまりごとの評価規準例	製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等ができる技能を身に付けている。	問題を見いだして課題を設定し、材料の選択や成形の方法等を構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。
			※必要に応じて分野別の評価の観点の趣旨のうち「主体的に学習に取り組む態度」に関わる部分を用いて作成する。

②「内容のまとまりごとの評価規準を具体化したもの」作成
“学習指導要領「内容の取扱い」”や“学習指導要領解説P60”を参考に、①を具体化します。

	「内容のまとまりごとの評価規準（例）」を具体化した例
・適切な図法を用いて、製作に必要な図をかくことができる技能を身に付けている。	・生活や社会の中から材料の製造や成形などに関わる問題を見いだして課題を設定する力を身に付けている。
・工具や機器を使用して、安全・適切に材料を取り、部品加工、組立て・接合、仕上げや、検査等ができる技能を身に付けている。	・課題の解決策を、条件を踏まえて構想し、製作図等に表す力を身に付けている。
	・設計に基づき合理的な解決作業について考える力を身に付けている。
	・課題の解決結果や解決過程を評価、改善及び修正する力

③「学習活動に即した評価規準」作成
題材の目標、題材の指導計画等を参考に、題材の学習活動ごとに②を具体化、整理・統合します。

時間指導事項	学習活動 ※□は取り上げる学習内容例を示す	○：評価規準の例 知識・技能	◇：評価方法の例 思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	・3年間の学習の見通しをもつ。			
2	・社会や生活で使われている耐震補強器具について調べる。			
A(1)イ	製品の使用目的、使用条件、材料、構造、加工法、価格、耐久性、廃棄方法など			
3	・木材、金属などの材料の特性に関係する力学的な性質など			

内容のまとまりとは？ 技術分野における“内容のまとまり”とは、例えば内容A材料と加工の技術においては、「A 材料と加工の技術」（1）生活や社会を支える材料と加工の技術、「A 材料と加工の技術」（2）材料と加工の技術による問題の解決、「A 材料と加工の技術」（3）社会の発展と材料と加工の技術 …というように、各内容の学習過程の三つの要素それぞれを指しています。

題材名は？

- ・技術分野で育成することを目指す資質・能力は、単に何かを作ることによって効果的に育成することはできません。
- ・“〇〇を作ろう”といったような題材名は、教科が目指している目標を誤って社会や周囲に伝える一因にもなっており、適切ではありません。題材名の設定には熟慮が必要です。

▼題材の評価規準の作成手順

①「評価の観点の趣旨」をベースに…

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点の趣旨	生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。

②「内容のまとまりごとの評価規準（例）」を加えて、整理・統合します

内容のまとまりごとの評価規準	A(1)	A(2)
・材料や加工の特性等の原理・法則と、材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解している。	・材料と加工の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。
・製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等ができる技能を身に付けている。	・問題を見いだして課題を設定し、材料の選択や成形の方法等を構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。	

技術・家庭科（技術分野） 事例1
キーワード 指導と評価の計画から評価の総括 「知識・技能」の評価
題材名 材料と加工の技術によって、安全な生活の実現を目指そう ～オーダーメイド耐震補強器具を開発しよう～
内容のまとまり 内容「A 材料と加工の技術」 (1) 生活や社会を支える材料と加工の技術 (2) 材料と加工の技術による問題の解決 (3) 社会の発展と材料と加工の技術

1 題材の目標

材料と加工の技術の見方・考え方を働かせ、より安全な生活を目指した耐震補強器具を開発する実践的・体験的な活動を通して、生活や社会で利用されている材料と加工の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付け、材料と加工の技術と安全な生活や社会との関わりについて理解を深めるとともに、生活の中から材料と加工の技術と安全に関わる問題を見いだして課題を設定する力、安全な生活や社会の実現に向けて、適切かつ誠実に材料と加工の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付ける。

※ 下線部は、解説のp.25に示された内容「A 材料と加工の技術」のねらいと「題材の目標」の記載が異なる部分を示す（3編p.40「2（2）題材の目標の設定」を参照）。

2 題材の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	生活や社会で利用されている材料と加工の技術についての科学的な原理・法則や基礎的な技術の仕組み及び、材料と加工の技術と安全な生活や社会との関わりについて理解しているとともに、製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等ができる技能を身に付けている。	生活の中から材料と加工の技術と安全に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして、課題を解決する力を身に付けているとともに、製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等ができる技能を身に付けている。	安全な生活や社会の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。

3 指導と評価の計画（第1学年 20時間）

時間指導事項	学習活動 ※□は取り上げる学習内容例を示す	○：評価規準の例 知識・技能	◇：評価方法の例 思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	・3年間の学習の見通しをもつ。			
2	・社会や生活で使われている耐震補強器具について調べる。			
A(1)イ	製品の使用目的、使用条件、材料、構造、加工法、価格、耐久性、廃棄方法など			
3	・木材、金属などの特性に関係する力学的な性質など			
A(1)ア	材料の組織や断面形状や部材の構造と強度、切削、切断や塑性加工の特徴など	◇ペーパーテスト	◇ワークシート	
4	・製作品の強度や構造、切削、切断等に関する実験・観察を行う。	◇製作品の構造や強度と、主な加工の特徴を説明できる。		
A(1)ア	断面形状や部材の構造と強度、切削、切断や塑性加工の特徴など	◇ペーパーテスト		
5	・材料の製造方法や成形方法などの基礎的な技術の仕組みに関連した実験・観察を行う。	◇材料の製造方法や成形方法などの基礎的な技術の仕組み		
6				
A(1)ア	切削、切断、塑性加工といった加工性、材料を成形する方法、切断や加工の方法、表の方法など			
7	・生活の中から材料と加工の技術と安全に関わる問題を見いだして課題を設定する力、安全な生活や社会の実現に向けて、適切かつ誠実に材料と加工の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付ける。			
A(2)				

第1学年？20時間？

- ・この事例は内容A材料と加工の技術を1年生で取り扱う場合について記述してあります。当然、目指す資質・能力、評価計画も1年生段階を想定したものになっています。
- ・内容Aは配当時数が増えがちですが、生徒や学校・地域の実態等に応じて年間指導計画立案段階で適切に時数を決める必要があります。

区切りがない？

- ・横の区切り線が入っていない部分は、複数の学習活動に渡って同じ規準で評価を行います。